

名称	周波数	波長	主な伝搬		アマチュアバンド
			近距離	遠距離	
中波 (MF)	300kHz～	1000m～	地表波	電離層波 (E層)	1.8/1.9MHz帯
短波 (HF)	3000kHz (3MHz)	100m	電離層波 (F層)	電離層波 (F層)	3.5～28MHz帯
超短波帯 (VHF)	30MHz	10m		電離層波 対流圏波	50/144MHz帯
極超短波 (UHF)	300MHz	1m	直接波 大地反射波	対流圏波	430～2,400MHz帯
センチメートル波 (SHF)	3000MHz (3GHz)	10cm			5.6～24GHz帯
ミリメートル波 (EHF)	30GHz～300GHz	1cm～1mm	直接波		47～249GHz帯

■ 84ページ 第7-1表 電波 (周波数) の種類と伝搬の仕方

■ 144ページ スプリアス発射又は不要輻射の強度の許容値 追加

335.4MHzを超え470MHz以下の周波数の電波を使用するアマチュア局の送信設備の帯域外領域におけるスプリアス発射の強度の許容値並びにスプリアス領域における不要発射の強度の許容値は上表に規定する値にかかわらず、次のとおりとする。

空中線電力	帯域外領域におけるスプリアス発射の強度の許容値	スプリアス領域における不要発射の強度の許容値
5Wを超えるもの	1mW以下であり、かつ、基本周波数の平均電力より60dB低い値	50μW以下又は基本周波数の搬送波電力より70dB低い値
1Wを超え50W以下		基本周波数の搬送波電力より60dB低い値
1W以下	100μW以下	50μW以下

■ 158ページ 別表第四号 無線電話通信の略語 (抜粋)

略語	意義又は差欄の略語に相当する無線電信の略符号
遭難、MAYDAY又はメーデー	SOS
緊急、PAN PAN又はパン パン	XXX
非常	OSO
各局	CQ又はCP
こちらは	DE
どうぞ	K
了解又はOK	R又はRRR
お待ち下さい	AS
反復	RPT
ただいま試験中	EX
本日は晴天なり	VVV
訂正又はCORECTION	HH
終り	AR
さようなら	VA
誰かこちらを呼びましたか	QRZ ?
明りょう度	QRK
感度	QSA
そちらは… (周波数、周波数帯、又は通信路) に変えてください	QSU
そちらは… (周波数、周波数帯、又は通信路) に変更します	QSW
そちらは… (周波数、周波数帯、又は通信路) を聴取します	QSX
通報はありません	QRU

■8ページ

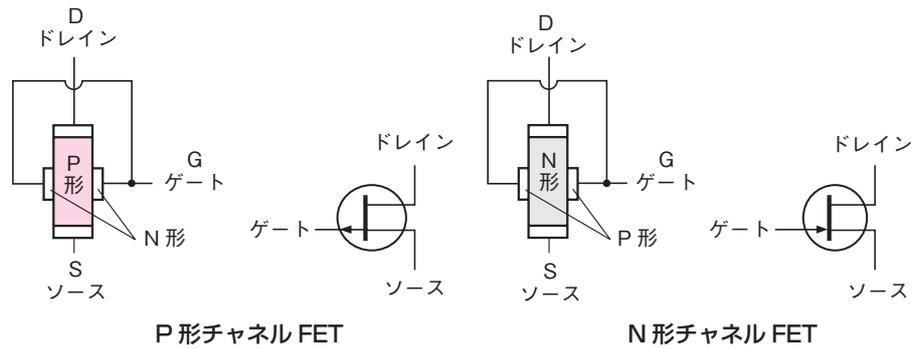
導体と絶縁体の中間が半導体

半導体とは「導体と絶縁体の中間に位置する」物質です。単純な抵抗体では、加える電圧と流れる電流の関係は正比例しますが、半導体ではその特性から正比例しません。また、絶縁体や半導体では温度が上昇するとその抵抗値は下がります。

■10ページ 下から3行目

あります。コイルの大きさを表すには、インダクタンスという呼称が

■15ページ 第1-7図



P形チャンネルFET

N形チャンネルFET

第1-7図 接合型FETの構造

■64ページ 下から4行目

^{みゃくりゅう}を脈流といい、まだ交流成分が少し残っています。この交流成分を取

■108ページ 2行目

誤 アマチュ局 正 アマチュア局

■118ページ 3行目

誤 (第24条) 正 (第28条)

■119ページ 一番下の行

誤 正

ければならなりません ければならなりません

■143ページ 別表第2号の下に追加

電波の型式	占有周波数帯幅の許容値
J3E	3kHz

■149ページ 第三地域の周波数を次のように訂正

1行目 1,800~2,000kHz 2行目 3,500~3,900kHz

220~225MHzと902~928MHz (902~902は902~928MHzに訂正)

および5,850~5,925MHzは第二地域に変更

また、130~315kHzがアマチュアに割り当てられている。

第一地域の周波数を次のように訂正

9行目 2,1000~ 21,000~